

1 調査名称：瀬戸市都市交通マスタープラン策定業務

2 調査主体：瀬戸市

3 調査圏域：瀬戸市全域

4 調査期間：平成 25 年度～平成 27 年度

5 調査概要：

社会経済情勢の変化として、人口減少と高齢化による都市の生活を支える医療、福祉、子育て支援などの社会機能の低下、中心市街地等における人口流出と都市機能の拡散によるまちの衰退、環境負荷の高まりなどの諸変化に大胆かつ柔軟に対応するため、都市機能の維持・再生、集約型まちづくりの実現、環境対策など多面的な視点からのまちづくりが求められている。

瀬戸市が目指すべきまちづくりの実践に向けて、上位計画である瀬戸市総合計画、都市計画マスタープランに基づいた、道路や公共交通などの施設整備、交通需要マネジメントなどのハード、ソフト施策等の骨格交通体系について、中長期的な交通施策のあり方を定め、実行していくことが必要不可欠である。

そこで、土地利用と交通を一体的にとらえた将来の都市交通像を描くとともに、それを実現するための土地利用構想、骨格交通体系等を定めるため、都市交通マスタープランを策定する。また、このプランを具現化するため、平成 21 年度に策定した瀬戸市まちなか交通戦略の評価を行い、都市計画道路網の検証、交通結節点の整備推進、公共交通網の形成と利便性の向上など、総合的な交通施策を盛り込んだ都市交通戦略の見直しを行う。

I 調査概要

1 調査名

瀬戸市都市交通マスタープラン策定業務委託

2 報告書目次

1 瀬戸市都市交通マスタープラン（案）

序 章 計画の目的と位置づけ

第1章 瀬戸市の現況分析

第2章 瀬戸市の交通の現況

第3章 瀬戸市の交通課題

第4章 瀬戸市が目指す将来交通の方針

第5章 交通施策の検討

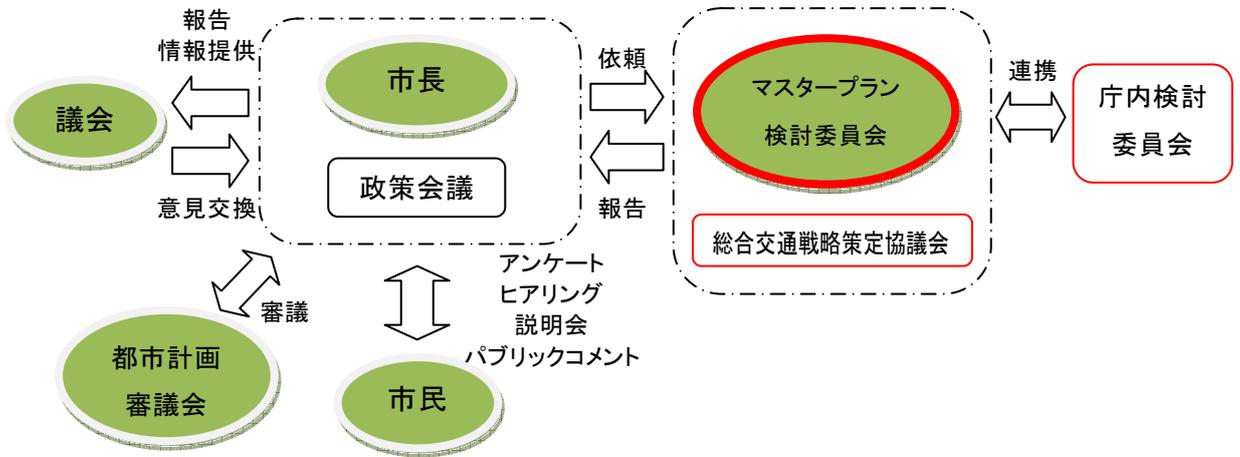
第6章 実現に向けた取組み方針

2 瀬戸市総合交通戦略（案）

第1章 交通戦略の方針

第2章 実施方針（アクションプログラム）

3 調査体制



瀬戸市都市計画・都市交通マスタープラン検討委員会 (委員長：中部大学 工学部 都市建設工学科 教授 磯部友彦)
瀬戸市総合交通戦略策定協議会 (会長：中部大学 工学部 都市建設工学科 教授 磯部友彦)
瀬戸市都市計画・都市交通マスタープラン庁内検討委員会 (事務局：瀬戸市都市整備部都市計画課)

## II 調査成果

### 1 調査目的

社会経済情勢の変化として、人口減少と高齢化による都市の生活を支える医療、福祉、子育て支援などの社会機能の低下、中心市街地等における人口流出と都市機能の拡散によるまちの衰退、環境負荷の高まりなどの諸変化に大胆かつ柔軟に対応するため、都市機能の維持・再生、集約型まちづくりの実現、環境対策など多面的な視点からのまちづくりが求められている。

瀬戸市が目指すべきまちづくりの実践に向けて、上位計画である瀬戸市総合計画、都市計画マスタープランに基づいた、道路や公共交通などの施設整備、交通需要マネジメントなどのハード、ソフト施策等の骨格交通体系について、中長期的な交通施策のあり方を定め、実行していくことが必要不可欠である。

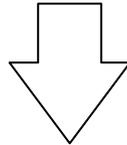
そこで、土地利用と交通を一体的にとらえた将来の都市交通像を描くとともに、それを実現するための土地利用構想、骨格交通体系等を定めるため、都市交通マスタープランを策定する。

本調査においては、都市構造及び交通の現状分析を行い、現況把握から各交通問題などを明らかにし、次年度以降の都市交通マスタープラン策定、都市交通戦略の見直しを目指す。

## 2 調査フロー

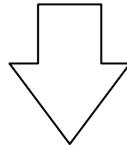
### I 都市構造・交通の現状分析

- 1 都市の現況把握
- 2 交通の現況把握
- 3 交通課題の抽出



### II 交通将来像と都市交通像の基本方針

- 1 将来都市像の検討
- 2 都市づくりの基本的課題の整理
- 3 将来交通計画の検証
- 4 瀬戸市まちなか交通戦略の評価
- 5 都市交通マスタープラン骨子案

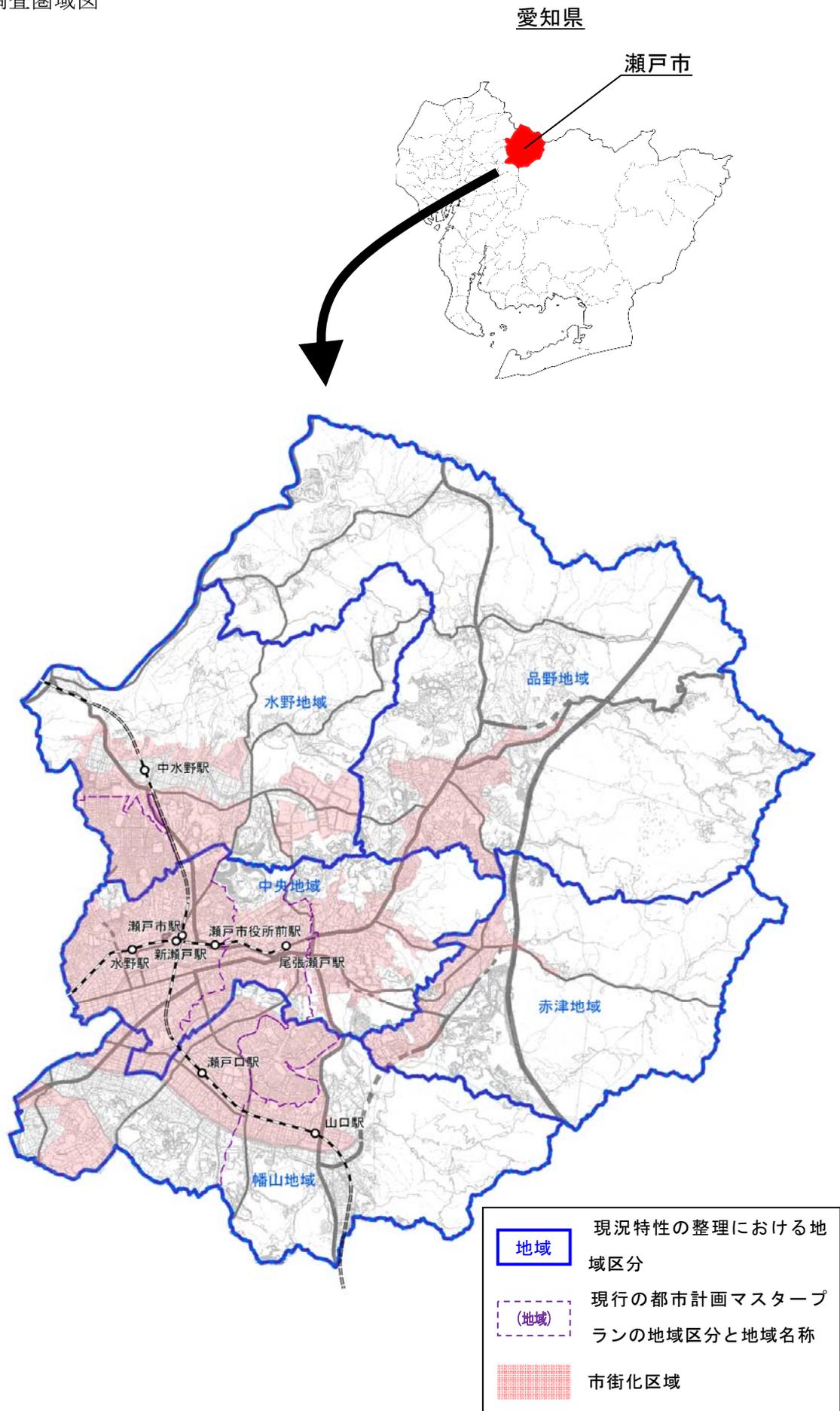


今回調査

### III 都市交通マスタープラン（案）及び総合交通戦略（案）の策定

- 1 都市交通マスタープラン（案）の策定
- 2 都市・地域総合交通戦略（案）の策定（見直し）（まちなか交通戦略を包含）

### 3 調査圏域図



## 4 調査成果

### 1 瀬戸市が目指す将来交通の方針

#### (1) 瀬戸市が目指す将来交通の方針

「市民の定住及び転入の促進」や「まちを行き来する人の増加」に向けて、こうした各拠点をはじめとした都市全体のにぎわい・機能の向上しながら、瀬戸市の豊かな自然ややきもの文化を活かし、市民の暮らしを支え、市内外の人々の新たな交流を創出するものとする必要がある。

このため、瀬戸市の将来交通の方針を「瀬戸市の暮らしと交流を支える交通環境の創出」とし、まちづくり等と一体となった施策展開を推進する。

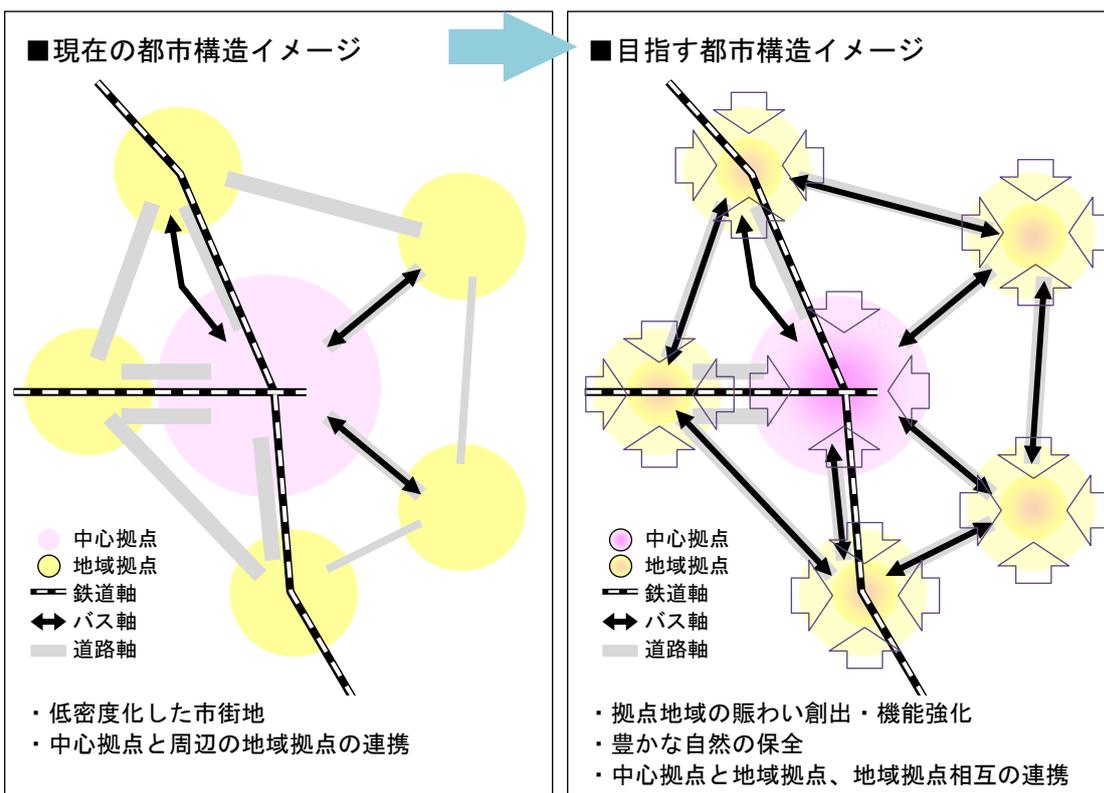
### 瀬戸市の暮らしと交流を支える交通環境の創出

#### (2) 瀬戸市が目指す将来都市構造

「瀬戸市の暮らしと交流を支える交通環境の創出」を、人口減少・少子高齢化が進展し、限られた財源の中で、自然環境や生活環境に配慮しながら進める必要がある。

このため、瀬戸市では多様な特性のある各拠点の交流を促進し、各拠点が補完し合いながら効率的に、都市のにぎわいや機能を向上させるために、都市拠点をはじめ地域拠点相互を有機的にネットワーク化した「多極ネットワーク型のコンパクトシティ」の実現を目指すものとする。

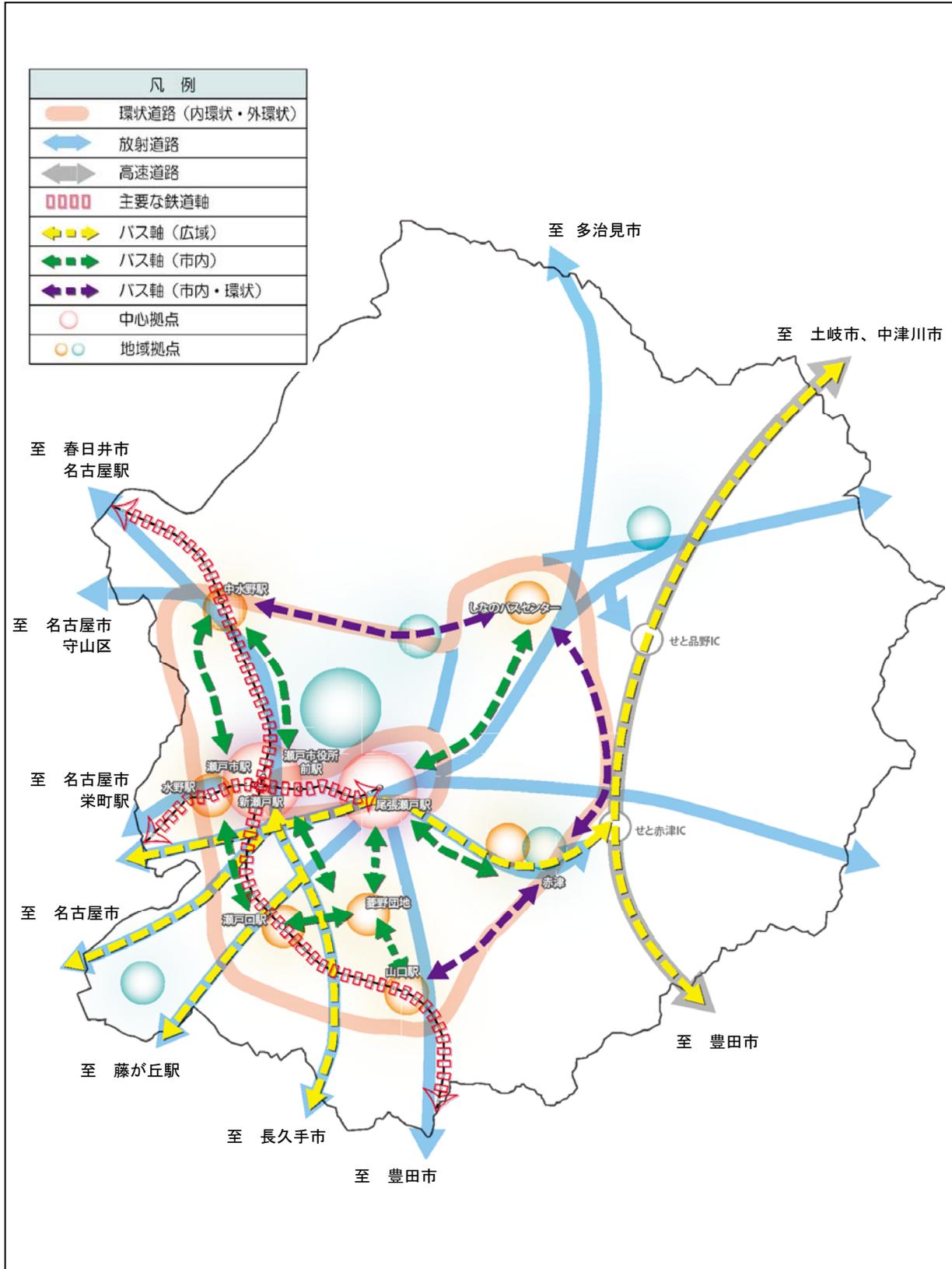
### 多極ネットワーク型のコンパクトシティ



## 2 骨格交通軸の設定

都市計画マスタープランの拠点配置と機能向上を前提とし、骨格となる道路網と公共交通網を配置する。

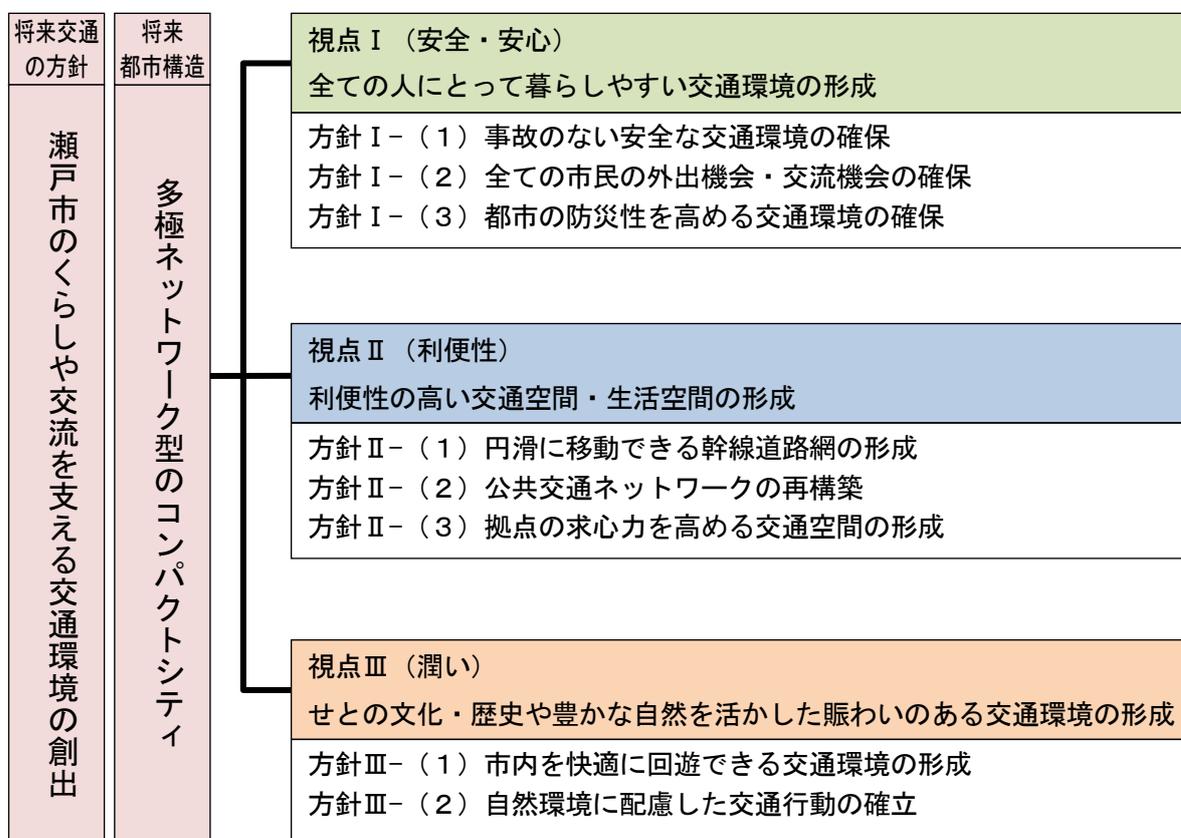
### ■瀬戸市の骨格交通体系



### 3 交通施策の方針

多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を前提として、瀬戸市のくらしと交流を支える交通環境を創出するため、瀬戸市の交通課題に対し、交通施設やこれを取り巻く環境に求められる基本的な機能を確保しながら、瀬戸市の特性を活かした交通環境を創出する必要がある。

瀬戸市の交通課題を踏まえ、交通環境に求められる基本的な視点として、都市生活や日々の移動が安全・安心かつ便利に行うことができる交通環境の整備が必要である。また、瀬戸市の自然・歴史文化を保全するとともに、人々の交流に活用し賑わいを形成するための交通環境の整備が必要である。このため、以下の3つの視点からの方針を設定し、「道路」「公共交通」「交通結節点」「交通行動」に係る交通施策を検討する。



## 道 路

### 1 骨格道路網の整備

- 外環状道路の整備促進
- 内環状道路の整備
- 都市間・拠点間連携道路の整備
- 主要生活道路の整備

### 2 踏切渋滞の緩和

- 骨格軸の形成に応じた踏切交差の検討・整備

### 3 交差点の改良等

- ボトルネックの解消
- 自動車交通に係る事故対策

### 4 連続的な自転車空間の整備

- 拠点周辺における自転車走行ネットワーク検討・整備

### 5 安全な歩行空間・生活空間の整備

- 通学路の合同点検及び整備の推進
- 拠点周辺における連続的、面的な歩行空間の確保
- 住宅地周辺における路上駐車排除

### 6 狭隘道路の整備

- 空家等の適正処理等による安全確保

### 7 都市空間の高質化

- 玄関口としての景観整備
- おもてなし拠点の回遊空間の整備
- 沿道民有地と一体となったゆとりある歩行空間の創出

## 公共交通

### 1 広域ネットワークの機能強化（鉄道・バス）

- 鉄道のサービス維持・向上
- 広域バスの創出
- 周辺都市への都市間バスの維持・改善

### 2 拠点間バスネットワークの維持・改善

- 新たな都市構造の実現に向けたバスネットワークの再編

### 3 公共交通ネットワークの再構築

- 自立可能な地域公共交通手段の運行

## 交通結節点

### 1 駅・バス停の機能強化

- 乗換え利便性の高い駅整備
- 鉄道駅における生活関連施設の整備
- バス停の安全性・快適性の確保

### 2 駐車場の適正配置

- 駐車場の適正配置
- 駐車場や公共空間の再配分



■バス停の駐輪場設置例  
(しなのバスターミナル)



■バス停のグレードアップ  
資料：岐阜市 HP

## 交通行動

### 1 交通安全意識の向上

- 交通安全に対する意識啓発活動
- 自転車利用ルール・マナーの周知活動

### 2 公共交通の利用促進

- 公共交通運行に関する情報提供活動
- 意識啓発活動
- 料金割引制度の導入

### 3 環境負荷の少ない交通行動の促進

- 意識啓発活動の実施
- 自動車充電インフラ整備推進

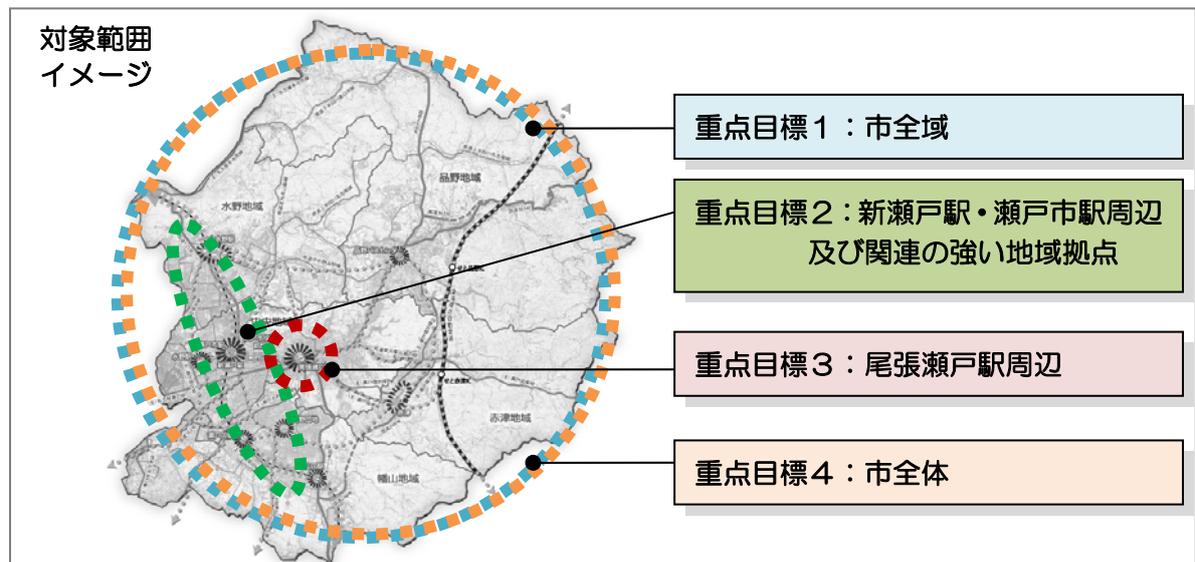
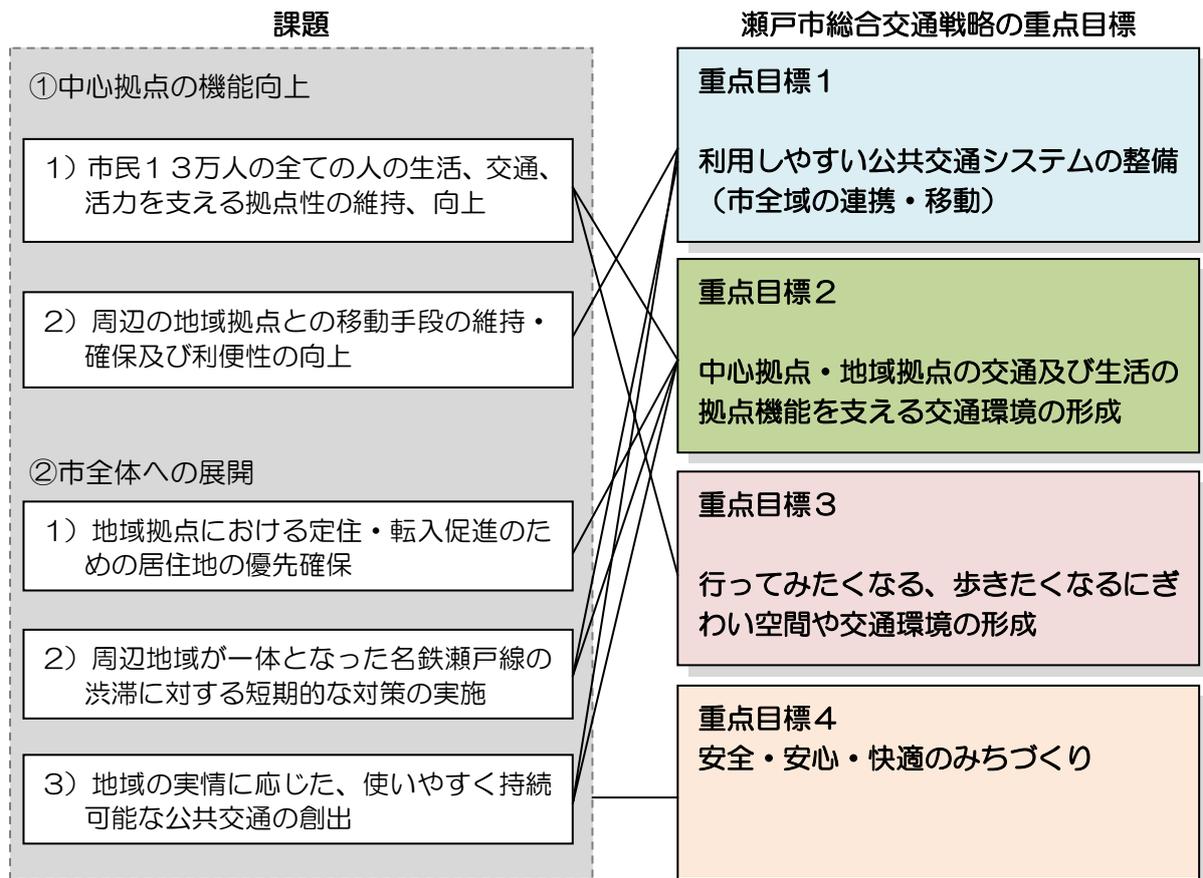
### 4 観光振興とのタイアップ

- 鉄道事業者との協働による広報
- 市内の回遊性を向上させる交通手段の導入検討

#### 4 実現に向けた取組み

中心拠点の機能を拡充する取組みを継続的に進めるとともに、社会情勢の変化に伴う新たな課題に対応し、目指す交通環境や将来都市構造を形成するため、以下の4つの重点目標を設定し、戦略的に交通施策を展開する。

**将来交通の方針** : 瀬戸市の暮らしと交流を支える交通環境の創出  
**将来都市構造** : 多極ネットワーク型のコンパクトシティ



## 重点目標 1：利用しやすい公共交通システムの整備（市全域の連携・移動）

### 主な対象拠点

市全域

### 狙い

- ◎ 周辺都市への交通の利便性の向上及び、全国及び周辺都市からの移動の足の確保
- ◎ 全ての地域での基盤整備が困難な中で、全ての地域において、誰もが便利に安心して生活できるような交通環境の形成による生活利便性の維持・向上
- ◎ 公共交通への転換による道路混雑の緩和

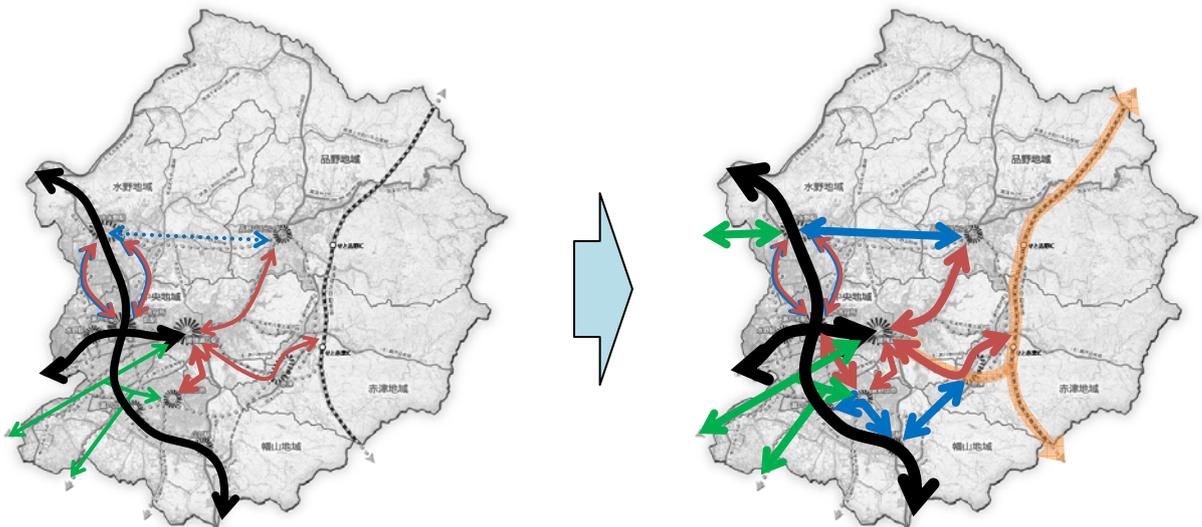
### 方針

- 周辺都市の都心アクセスの利便性向上
- 5 地域から市内鉄道 2 路線及び主要な都市機能へのアクセス利便性の向上
- 公共交通を支える意識の向上

### 施策の展開イメージ

公共交通の利用者が減少し、自動車交通量が増加  
・公共交通サービスの低下の負のスパイラル  
・自動車が運転できない人の外出機会の減少

・広域からの来訪者の移動手段の確保  
・鉄道の利用促進・サービス向上  
・バス体系の再編、あらたな地域公共交通の創出  
・公共交通の利用促進



— 鉄道軸 — 広域バス軸 — 市内基幹バス軸 — 拠点間連携軸

## 重点目標2：中心拠点・地域拠点の交通及び生活の拠点機能を支える交通環境の形成

### 主な対象拠点

新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺、中水野駅周辺、菱野団地周辺

### 狙い

- ◎中心拠点周辺における全ての移動手手段の円滑化・安全性の向上を図る
- ◎公共交通の利用促進を図る
- ◎瀬戸市の顔となる駅周辺において、まちなか居住や都市機能の立地を誘発し、鉄道駅が立地しない地域の住民も含め、全ての市民の生活利便性の向上を図る。

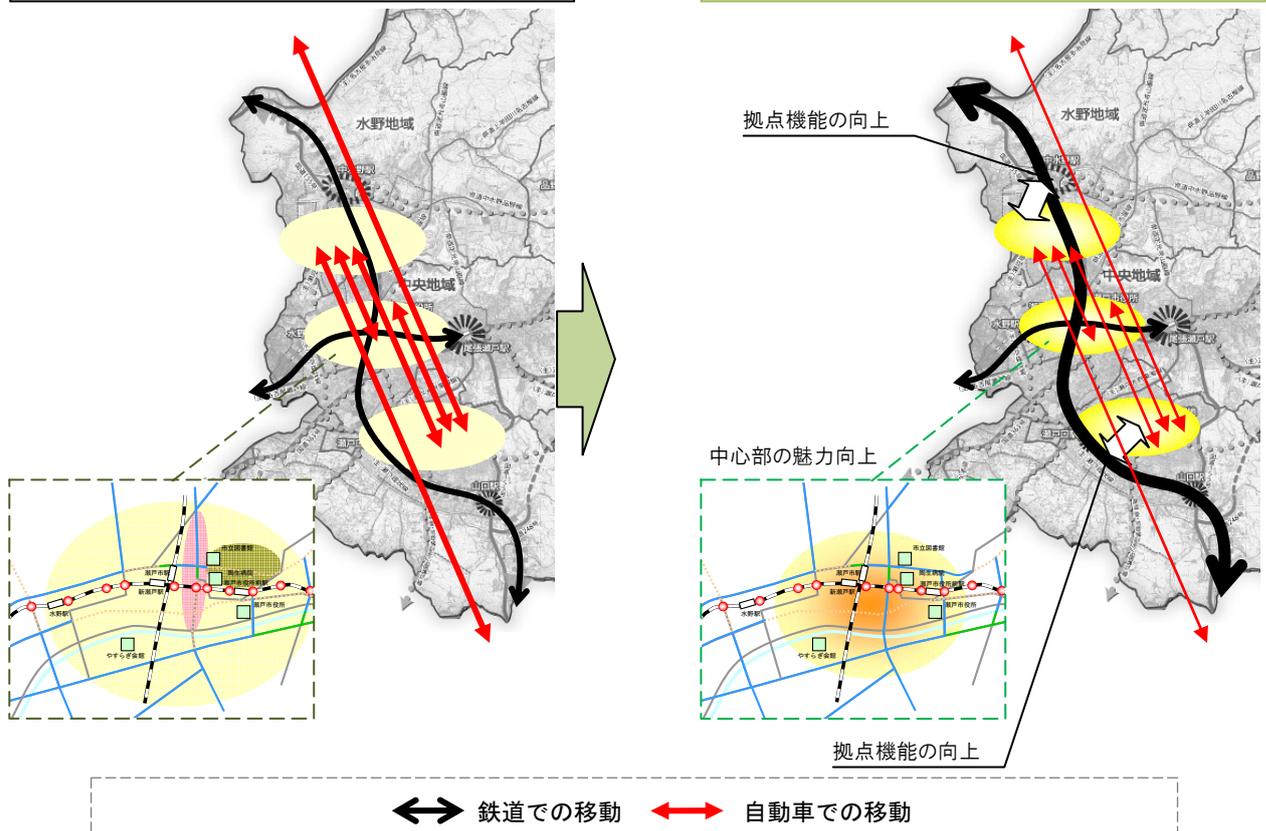
### 方針

- 名鉄瀬戸線踏切部の混雑解消
- 拠点内の骨格道路網の形成、自転車・歩行者空間のネットワーク化
- 交通結節点の乗換え利便性の向上
- 地域拠点における魅力の向上

### 施策の展開イメージ

- ・代替不可能な都市機能
- ・踏切渋滞による都市の魅力の低下

- ・広域サービス施設へのアクセス利便性向上
- ・駅における乗換え利便性の向上
- ・中心部の骨格道路の形成推進



## 重点目標3：行ってみたくなる、歩きたくなるにぎわい空間や交通環境の形成

### 主な対象拠点

尾張瀬戸駅周辺

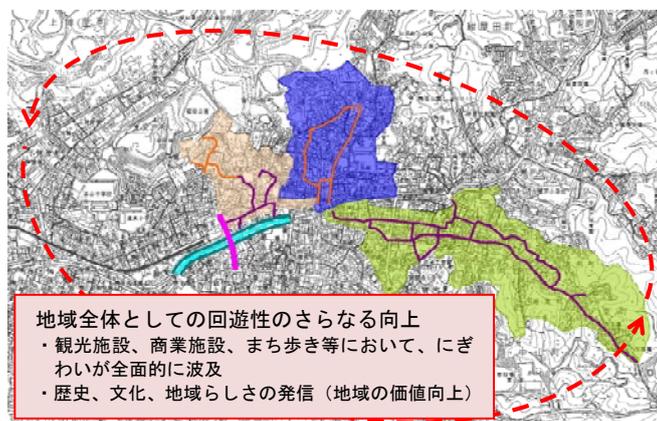
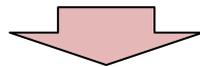
### 狙い

- ◎地域資源の集積を活かした観光によるにぎわいの創出
- ◎瀬戸市の歴史・文化を情報発信する各種イベントの継続開催により、瀬戸市の魅力をより多くの人に伝える
- ◎瀬戸らしい街なみが残る中心市街地での生活に対して満足度を向上する。

### 方針

- 市内外から多くの人を呼び込む回遊空間の整備
- 拠点施設や地域に円滑にアクセスできる交通環境の形成
- 住環境を向上するための安全な移動空間の確保

### 施策展開のイメージ



## 重点目標4：安全・安心・快適のみちづくり

### 主な対象拠点

市全域

### 狙い

- ◎家族が安心して高齢者や子どもを歩かせることができる交通環境の形成
- ◎産業交通と生活交通のWin-Winの関係の構築

### 方針

- 市街地内への通過交通・大型車交通の排除
- 全ての人が安全・安心に生活できる道路空間整備
- 交通安全意識、環境・文化保全意識の向上

### 施策展開のイメージ

- ・通過交通・大型車両が市街地を通過
- ・通学路等における不連続な歩道ネットワーク

- ・通過交通・大型車両の環状道路への転換
- ・市街地内の自動車と歩行者の交錯機会の減少
- ・通学路等の安全確保による定住促進



— 環状道路（整備済み）    - - - 環状道路（未整備）    <-> 自動車の通過交通